

<タイプ別目標構造表(Aタイプ-ver.3)>

中目標1：身近な生活行動場面の基礎知識・基礎技能

小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
1) 交通 周囲の助けを得ながら、交通機関も利用して目的地に行くことができる	① 徒歩や自転車での通行に関する <u>交通ルールや注意事項</u> を守って通行できる	◇車は左人は右、信号、道路・踏切の横断、自動車の内輪差、危険行為
	② よく知られている場所を指定され、その場所のメモを渡されれば、通行人にそのメモを見せて道を尋ね、行ったことのない目的地にも行ける	
	③ 2、3度連れられて行ったことのある駅までなら、かつ中国語で行き方を尋ね、経路図を書いてもらえれば、人にそれを見せて尋ねながら電車を利用して行ける	
	④ 前以て中国語で行き方を尋ね、経路図を書いてもらって、人にそれを見せて尋ねながら、電車を利用して行ったことのない駅まで行ってみる	
	⑤ 2、3回乗ったことのある区間なら、目的の停留所までバスを利用して行ける	
	⑥ 道に迷ったときや事故に遭遇したときの <u>対処の方法</u> を知り、そのうちのいくつかができる	◇周りの人へ助けを求める方法
2) 消費生活 消費生活に対する興味を持ち、知識を身に付けて、周囲の助けを得ながら日常必要な物が買える	① <u>商店の形態や価格の違い及び消費税</u> について知る	◇スーパー、個人商店
	② 買いたい物のある <u>場所</u> が探せて、買える	◇品名のメモや実物を人に見せて尋ねて場所を探す、ジュースチャーで人に尋ねて場所を探す、多めのお金を出してとってもらう
	③ <u>品物を選ぶ方法</u> を知る	◇表示(価格と値引き、サイズ、製造年月日)を見る、試着して選ぶ、見分けにくい日用品に関する商品(シャンプー、リンス)知識
	④ <u>身近なサービスの利用法</u> を知る	◇写真の現像・焼き増し、クリーニング、理髪店・美容院、レストラン
	⑤ <u>釣り銭の間違いへの対処法と品物の返品交換の方法</u> を知る	◇現金とレシートを示す ◇レシートと品物を示す
	⑥ <u>契約上のトラブルを回避するための知識</u> を身に付ける	◇印鑑の重要性、訪問販売の危険性
	⑦ <u>金融機関としての郵便局および銀行の基本的な機能</u> を知る	◇金融機関の生活の中での重要性、預金、口座を開き使うこと、預金の出し入れ、生活保護費の振り込みと引き出し、公共料金の自動引き落とし、キャッシュディスプレイ、カード
3) センター センターでの学習生活に必要な知識を身に付け、必要な行動ができる	① 人に書いてもらって欠席、早退、遅刻の届けができる	
	② <u>当番(日直等)の仕事</u> が果たせる	◇教室内外の教室整備(チョーク、その他の備品、掃除)、教師との連絡、宿題、昼食関係(食券、配膳、後片づけ)
	③ <u>その他、センターの規則</u> を守って行動できる	◇喫煙、飲食、内履き・外履き、時間、身分証携帯、団体行動
4) 住居・近隣対応 居住環境についての知識を身に付け、近隣の人や援助してくれる人と良好な関係を保つことができる	① <u>住居内の安全と衛生に関する知識</u> を身につける	◇ガス、電気、施錠、住居用洗剤等の薬品、布巾と雑巾の区別、災害への備え
	② 日本の住宅事情と住宅の種類について最低限の知識を身につける	◇移転の自由、住居の狭さ、畳の生活 公営住宅の種類・競争率、帰国者への優遇処置、民間住宅の種類
	③ 近隣の人とよい関係を保つための、日本の <u>近所付き合い</u> についての知識を身につけ、適切に援助を求めることができる	◇引越しの挨拶、日常の挨拶、回覧板処理、町内会制度、ゴミの分類と出し方、緊急時の連絡(急病、火災、盗難)、苦情(言う、言われる)、物のやりとり(おすそわけ、みやげ)、慶弔の知識
	④ <u>身元引受人や自立指導員の役割</u> を知り、これらの人々に適切に援助が求められる	◇役割の知識、役場、金融機関、日本語学校、求職、就職面接、職場、医療機関、子どもの学校等の諸手続きやこれらに関する相談
	⑤ <u>接客・訪問の基本的なマナー</u> を身に付ける	◇訪問のマナー(服装、靴の揃え方・脱ぎ方、座布団の座り方、足のくずし方・組み方、お茶・コーヒー・紅茶の飲み方、食べ物を勧められたときの断り方)、食器類の知識 接客のマナー(服装、靴の揃え方、座布団の出し方、お茶・コーヒー・紅茶の出し方、食器類の知識、食べ物の勧め方)、食べ物の勧め方、断り方
5) 職場・自分学校 求職の方法や職場の習慣についての知識および簡単な面接試験のマナーを知る	① <u>求職</u> について知る	◇求職の必要性(分配がないこと)、帰国者にも就業可能な職種、雇用条件(勤務時間、社会保険、給料の仕組み、休暇制度等)、雇用形態(正社員と他との違い)、求職の方法と流れ(履歴書の必要性、職安、知人紹介)
	② <u>職場の習慣</u> について知る	◇欠勤、早退、遅刻の正当な理由(病気、交通事情、慶弔)と処理の仕方、長期休暇のとり方、職場の電話や事務用品は私用に使えないこと、他人の給料の額は聞かないこと、日常的な挨拶
	③ <u>簡単な面接試験のマナー</u> を知る	◇入退室 おじぎ、返事
6) 健康 日本の医療事情についての知識を身に付けるとともに、医療機関の利用法を知る	① <u>日本の医療制度</u> に関する最低限の知識を身につける	◇医療券、健康保険の種類、健康保険の仕組み、緊急医療体制
	② <u>健康・衛生を保つ習慣</u> を身に付ける	◇歯磨き、爪、入浴・洗髪、下着・靴下、体温の計測
	③ 医療機関利用に関する知識を身につけ、2、3度自立指導員等の付き添いがあれば次からは自力でその医療機関が利用できる	◇付き添いの依頼、医療機関利用の流れ、受診の流れ、症状の説明、既往症・持病・アレルギーの有無、医者の指示や薬の飲み方を正しく理解することの重要性
7) 通信 郵便や電話についての知識を身に付け、利用に慣れる	① <u>電話利用に必要な知識</u> を身に付ける	◇電話普及の実態、電話設置の方法、料金の仕組み、電話の役割(指導員等との中文での約束、約束変更、緊急時等)、自宅の電話番号を人に知らせることの重要性
	② <u>電話の利用</u> に慣れる	◇電話機の種類と使い方、電話のマナー(含：間違い電話)、家に来た電話の取り継ぎ、指導員等への中文での依頼、学校や職場への欠勤・遅刻の連絡、センターでの実習における現在地の報告・緊急時の中文での連絡、留守電や話し中のときの対処
	③ <u>国内及び中国への手紙の出し方</u> についての最低限の知識を身につける	◇郵便局の通信業務(郵便の種類※、郵便番号、料金)、表書きを人に頼んで書いてもらう
8) 社会福祉・手続き 帰国者が受けられる公的援助と必	① <u>帰国者受け入れに関する種々の公的援助策</u> があることを知る	◇生活保護制度、自立指導員、日本語学習の機会、公営住宅の優先入居(埼玉と千葉は例外)

要な手続きがあることを知る	② <u>自分に必要な諸手続きがあることを知る</u>	◇生活保護、年金、役所の窓口、書類の記入、外国人登録または住民票、国籍取得、家族の呼び寄せ、出入国
小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
9) 子弟教育 日本の教育事情を知り、保護者の役割について知る	① <u>日本の学校制度や教育事情、帰国者二世の進学事情を知る</u> ② <u>小中学生の生活について知り、学校との連絡や必要な物の準備ができる</u> ③ <u>子供が学校適応上直面する問題とその対策について知る</u>	◇学齢と学制、進学率（小中高大）、教育費、学歴社会、小学校の施設 ◇小中学編入学年決定の仕組み、進学の可能性、奨学金制度 ◇小中学校の一日（学科、給食、クラブ活動）、小中学校の一年（学期、学校行事、長期休暇）、校則（服装、飲酒喫煙禁止、欠席の届け） ◇お知らせや成績表の処理、お弁当作りの工夫 ◇差別やいじめの原因（受け入れ側の経験不足、生活習慣の違い、年齢の違い、トラブル事例）
10) 生活技能 生活の前提となる数や文字記号、機器の扱いに関する生活技能を養う	① 4桁までの数がわかる ② <u>カレンダー</u> がわかる ③ <u>時計</u> がわかる ④ <u>貨幣</u> が扱える ⑤ 指示に従って簡単な書式に自分の名前と生年月日、年齢が記入できる ⑥ <u>文字や記号の照合</u> ができる ⑦ <u>簡単な機器や道具の操作</u> を試してみる	◇日付、曜日、日付と曜日の照合 ◇ ◇アナログ時計を読む、デジタル時計の数字表示を読む ◇1, 5, 10, 50, 100, 500円玉の区別、千、五千、一万円札の区別、金額と貨幣との結びつけ ◇自分の名前の漢字表記、平仮名表記、年齢 ◇店名の看板、駅名 ◇時計、パンチ、ホチキス、テープレコーダー、カメラ、コピー機 ※電卓、ビデオカメラ、紙裁断器、ナイフとフォーク、缶切り等、中国で使ったことのないもの

中目標 2 : 将来の生活に有用な基礎知識・基礎技能

小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
1) 一般教養 帰国者に必要な最低限の一般常識を身に付ける	① <u>正確な年齢の重要性</u> について知る ② <u>日本のごく簡単な戦後史</u> を知る ③ <u>日本のごく簡単な地理</u> を知る ④ <u>日本人の生活様式</u> についてごく簡単に知る	◇年齢が重要であることを知る、自分の正確な満年齢を知る、日本の年号と西暦 ◇「敗戦から日本の民主化と復興」のピ ◇主な4島名、自分の定着地の都道府県名、東京・埼玉という県名、日本が山がちで狭い島国であること、気候 ◇身だしなみ、食生活、家計、教育制度、家族事情（親子関係、同居別居）
2) 異文化 異文化社会での適応に伴う問題、及び日本での人間関係において生ずる問題を知り、自分の問題として対処法を考えてみる	① <u>異文化事例等</u> を通じて、文化の異同を把握し、その背景について考えてみる ② <u>サポートの手法や精神の安定を保つための楽しみを見いだす方法</u> について知る ③ <u>今後の人生設計</u> について考えてみる	◇・入郷随俗・等の残留孤児の日本社会定着にまつわる社会的問題（住宅、就職、生活保護、異文化、子や孫の日本社会適応とのずれ）のトラブル事例、先輩の事例等個別のケース、国籍と権利（国籍取得による得失） ◇個別のケース（先輩の事例）、所沢センターまたは担任や同期生との電話連絡の必要性、中国の家族に写真や音声テープを送って知らせること ◇テレビ（すもう、中国語講座、料理教室） ◇3年ぐらいは大変なこと
3) 日語自学 日本語の自学自習が可能なことを知る	① <u>生活の中で日本語を学べることを意識</u> する ② <u>記憶の助けになるいろいろな方法</u> を試してみる	◇日常の教師とのやりとり（日直、指示出し等） ◇平仮名のメモ、音声テープ等

中目標 3 : 身近な生活や将来の生活の基礎となるコミュニケーションの力

小 目 標	達 成 目 標	リ ス ト
1) 話題コミ 日本人と接することを通して、ごく限られた話題で何とかコミュニケーションできるようになり、日本語ができなければコミュニケーションできないのではないかと不安を軽減する	① 相手が様々な手段を用いれば理解でき、自分もまた様々な手段を用いれば伝えられるということを意識する ② 相手の発話が理解できないとき、 <u>理解できないということ伝える</u> ことができる ③ <u>自分に身近な話題</u> について様々な手段で尋ねられたとき、様々な手段を用いて答えることができる	◇表情、動作、絵（相手のみ）、類推（自分）、具体物（実物、写真、地図）等 ◇表情、動作、言葉（わからない、わかりません） ◇氏名、年齢、生年月日、家族、故郷（地名、暑さ寒さ、産物）、仕事、中国での生活（一日の生活、家事分担、貨幣紹介、物価の日中比較等）、好きなこと・食べ物、したいこと、食べ物（餃子の作り方）、行事（春節）
2) 日語知識 日本語に関する必要最低限の知識を身につける	① 平仮名の大部分が <u>読め</u> 、その一部が <u>書ける</u> ② <u>行動達成や平仮名学習に有用な最低限の語彙や表現の意味</u> を知り、その一部が使える ③ 必要最低限の日本語の漢字の意味が <u>わかったり</u> 、 <u>写せたり</u> 、 <u>書けたり</u> する	◇50音図のしくみ、平仮名で表記された語の音読 ◇平仮名1文字の聞き書き ◇『絵単語88』、『Aタイプ用語彙リスト』 ◇「漢字リスト」のもの ◇センターの住所 ◇自分の氏名